異年齢交流活動を終えて

本校の 301H（一般コース）の生徒全員は、毎年、家庭科「発達と保育」という科目の学習内容に合わせ、町内の保育所へ出向き、触れ合い交流学習をさせていただいています。今年度は、6 月から継続的に“生（なま）”で幼児と触れ合うことができ、本当に有意義な時間を過ごすことができました。

10 月下旬には、おはなしの会「がらがらどん」の会（町内ボランティア団体）の方を講師としてお招きし、絵本の読み聞かせ練習会を行いました。練習会では、「絵本の読み聞かせがどんなふうに聞こえるのか」、“聴く側の立場”を体験し、それをもとに読み聞かせ方のコツを学びました。

最後の訪問となった 11 月 6 日（火）、私立向陽台保育園の先生方の協力もあり、絵本の読み聞かせを実践する場をいただきました。保育士さんの足元にも及ばない、まだまだ練習不足の読み方だったかもしれませんが、後方に座っている園児さんにも見えるようにと、絵本を高く上げてみせたり、本の中の絵を指差して説明を加えたり…と生徒なりに「何か御礼にプレゼントをしてあげたい」という気持ちを行動で伝えていました。

交流活動にご協力下さった、保育園の先生方や保育園にお子様を預けていらっしゃる保護者の方々、幼児さんたちには、心から感謝しています。

本当にありがとうございました。